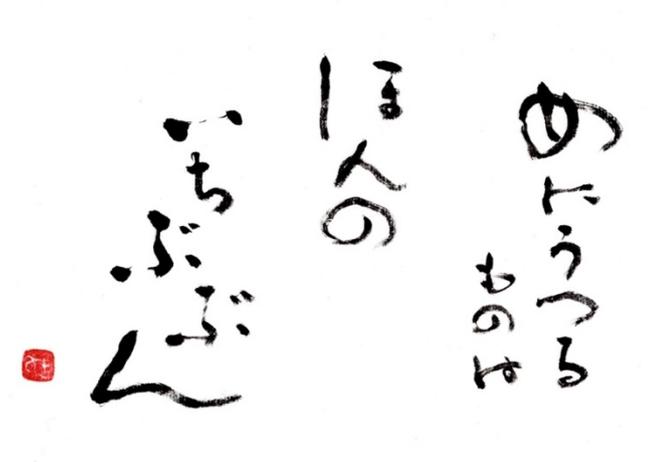


書の旅個展「私が見た、今の福島」

～福島県全59市町村の旅を終えて～

書家 根本みき



展示会タイトル 書の旅個展「私が見た、今の福島」

会期 福島県 2022年9月3日(土)～6日(火)

東京都 2022年9月21日(水)～25日(日)

会場・開廊時間 <福島県>

コミュニティ・カフェ EMANON

〒福島県白河市本町9 (JR白河駅から徒歩5分)

会期中 12:00-20:00

<東京都>

はれてまりカフェ&工房

〒東京都足立区千住東2-5-14(北千住駅1番出口より徒歩約7分)

土日祝 9:00-18:00 / 平日 12:00-18:00

*両会場共に、入場時ワンドリンクオーダーのご協力をお願いします

*近隣の公共駐車場や公共交通機関のご利用の協力をお願いします

書道パフォーマンス&ギャラリートーク

福島会場 9月3日(土)13:00～

東京会場 9月23日(金/祝)13:00～

お問合せ 根本みき(shoka@nemotomiki.jp) / official web : nemotomiki.jp

書家根本みきによる書の旅個展「私が見た、今の福島」を、福島県と東京都の二会場で9月に開催。2019年6月～2022年5月に渡り、福島県の全市町村を旅して得た気づきを元に取り書き下ろした作品を展示いたします。本個展では書作品の他、旅中に撮影した写真や動画も会場で公開予定です。今回書き下ろした作品は全部で18点、額作品だけでなく立体での表現も数点試みています。尚、本個展は作品売上の5%を大熊町への震災復興支援金に当て活動いたします。

<書の旅とは>

自分の五感を頼りに、旅中に感じたことを書にしながら歩く旅。時にはその場で出会った人に一筆書いてプレゼントするなどして、福島県を一周いたしました。

<旅を始めたきっかけ>

私自身が福島県出身であり、7年前に上京してから東京で活動する中で、自分が福島県出身だと伝えると「今の福島県は大丈夫?」「今はどうなの?」と聞かれ、未だに東日本大震災の印象が根深くあることに気が付き、そしてはっきりと「大丈夫です」とは言い切れなかった経験から、自分の目で見たことを伝えようと思い旅をスタートさせました。たとえ情報が少なかつたとしても、本当のことを伝えられると思ったからです。

<個展の見どころ>

福島県を一周する中で得た気づきを元に取り書にしていますが、人生を生きる上でも通ずる内容の作品も多く含まれているので、一つの面だけでなく様々な視点から想像力を膨らませてご覧いただけたらと思います。

作品をご覧いただく方へ、少しでも勇気や希望を届けられる個展になれば嬉しいです。

また、福島県を知らない方でも楽しんでいただけるよう、旅中に撮影した写真と書き下ろした書を盛り込んだ動画も会場で公開いたします。



根本みき 書家・水墨画家 | 雅号 華苑

福島県出身。8歳より書道を始め。

2015年に上京と同時に独立。書で、人と社会に活力を届けたい思いで、フリーランスとして幅広く活動している。

座右の銘や企業理念などオーダーメイドの書や筆文字ロゴ、自身の経験を元に取り書にする他、水墨画も手掛けている。これまでに国内外合わせて400点を超える作品を世に送り出している。

東京日本橋でペン字・書道教室を主宰、YouTubeで制作過程やペン字動画、書の旅などの活動風景を投稿している。

<展示作品(一部)>

人生は旅
主役は
自分
旅



受け入れ時
新時代
道が
開ける



時計の針は
動かせないけど
私からの
未来は
あなたの手で
動かせるよ

<旅ゴールの写真>

